

## 1. 製品及び会社情報

製品名	鉛フリーリール巻はんだ SF-A□ <sup>1</sup> □ <sup>2</sup> □ <sup>1</sup> = 04 □ <sup>2</sup> = 03,04,06,08,10		
会社名	太洋電機産業株式会社	担当部門	技術部
住所	〒720-0092 広島県福山市山手町 2-16-8		
電話番号	:084-951-1512	FAX 番号	:084-951-9531 E-mail :info@goot.co.jp
作成	:2005年6月17日	改訂	:2017年9月25日

## 2. 危険有害性の要約

&lt;GHS 分類&gt; ※分類対象外を除く

急性毒性(経口)	: 区分外
急性毒性(経皮)	: 区分外
急性毒性(吸入:気体)	: 分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	: 分類対象外
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分外
目に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分外
皮膚感作性	: 区分 1
呼吸器感作性	: 分類できない
発ガン性	: 区分外
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	: 区分 2(呼吸器系)
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	: 区分 1(呼吸器、肺) 区分 2(呼吸器)
環境に対する有害性	
水環境急性有害性	: 分類できない
水環境慢性有害性	: 区分外

&lt;絵記号又はシンボル&gt;



&lt;注意喚起語&gt;

- ・危険

&lt;危険有害性情報&gt;

- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・臓器(呼吸器系)の障害のおそれ
- ・長期又は反復ばく露による臓器(肺)の障害
- ・長期又は反復ばく露による臓器(呼吸器)の障害

&lt;注意書き&gt;

【予防策】

- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・取り扱い後はよく手を洗うこと。
- ・粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・保護手袋を着用すること

## 【対応】

- ・汚染された衣類を再使用する場合は洗濯をすること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
- ・皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼であらうこと。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受けること。
- ・ばく露した時、または、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

## 【保管】

- ・施錠して保管すること。

## 【廃棄】

- ・内容物や容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : ヤニ入はんだ

<濃度又は濃度範囲>

成分	含有量	化学式又は 構造式	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No.
錫	90- 100%	Sn	対象外	7440-31-5
銀	2.9%	Ag	対象外	7440-22-4
銅	0.1- 3%	Cu	対象外	7440-50-8
ロジン	1-10%	---	---	---

## 4. 応急処置

吸入した場合 : 加工・はんだ付け作業中に発生する揮発分を吸入して、喉、鼻に刺激を受けた場合は、被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動させる。うがいをして口の中を洗浄する。必要に応じて医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 石鹼水でよく洗浄する。

眼に入った場合 : 清浄な水で十分に洗眼し、その後必要に応じて医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 直ちに吐出し、その後必要に応じて医師の手当てを受ける。

最も重要な兆候及び症状 : 特になし

応急処置をする者の保護 : 特になし

## 5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火薬剤、砂

使ってはならない消火剤 : 水。金属が溶融しているときは注水厳禁。

火災時の特有の危険有害性 : 熱分解、不完全燃焼により、黒煙、一酸化炭素、その他の有害ガスが発生し、これらの吸入による危険がしょうじたりすることがある。火災によって刺激性、または毒性のヒューム、ガスを発生する恐れがある。

特有の消火方法 : 移動可能な容器は、速やかに安全な場所へ移す。周囲の設備等に散水して冷却する。消火作業は可能な限り風上から行う。

消火を行う者の保護 : 状況に応じて消火用防毒マスクや防火服等の保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
・保護手袋を着用する。
環境に対する注意事項
・下水、及び公共水域に流出しないようにする。
回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材:
・飛散したものを掃き集め、適当な容器へ回収する。
二次災害の防止策
・火花を発生しない安全な用具を使用する。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

【取り扱い】	
技術的対策	: 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	: 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
注意事項	: 作業場の整理整頓に努めるとともに、火気を近づけない。
安全取扱注意事項	: 「2.危険有害性の要約」に記載の注意書き【安全対策】を参照。
【保管】	
技術的対策	: 冷暗所に保管する。
保管条件	: 以下の点を避ける。①直射日光 ②高温高湿 ③屋外保管 尚、屋内保管においても白熱灯や水銀灯など高温や強い紫外線を出す照明の近くには保管しない。荷崩れ防止の為、段積には充分注意のうえ出来るだけ低くする。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 近くに手洗い、洗眼などの設備を設ける。 取扱い場所は換気をよくする。加工・はんだ付け作業中に揮発分が発生する可能性があるため、必要に応じて局所排気装置等を使用する。
管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	: ACGIH TWA (錫) 2 (銀) 0.1 (銅) 0.2 単位= mg/m <sup>3</sup> : 日本産業衛生学会 (錫) --- (銀) 0.01 (銅) --- 単位= mg/m <sup>3</sup>
【保護具】	
呼吸器の保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 保護手袋
眼の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体保護具	: 必要に応じて、作業衣、安全靴等を使用する。
衛生対策	: 作業後、よく手を洗い、うがいをしてから喫煙、飲食をする。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色	: 固体(金属線)
臭い	: 無し
PH	: データ無
融点・凝固点	: 217-220°C (金属融点)
可燃性	: 無し
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 沸点 錫 2507°C 銀 2000°C 銅 2324°C
引火点	: 無し
自然発火温度	: 無し

蒸気圧	: データ無
蒸気密度(空気=1)	: データ無
比重(密度)	: 7.4(20°C)
溶解度	: 水に不溶

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 常温では安定。
危険有害反応可能性	: 強酸・強アルカリと反応する恐れがある。
避けるべき条件	: 直射日光、はんだ付け目的以外の高温体との接触を避ける。
混触危険物質	: 強酸化剤、強アルカリ
危険有害な分解生成物	: 燃焼または高温により分解し、有毒ガス(黒煙、一酸化炭素中毒、その他)が発生する可能性がある。

## 11. 有害性情報

急性毒性	: 銀 >5000mg/kg 経口ラット(LD50) HSDB >2000mg/kg 経口ラット(LD50) HSDB
皮膚腐食性・刺激性	: 知見なし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 銀 眼刺激
呼吸器感受性	: 銀 (皮膚監査性)アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
皮膚感受性	: 銀 アレルギー性皮膚炎反応を引き起こすおそれ
生殖細胞変異原性	: 知見なし
発がん性	: 知見なし
生殖毒性	: 知見なし。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: [銀] 臓器(呼吸器系)の障害 : [銅] 気道刺激性(呼吸器)への刺激のおそれ
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: [錫] 長期または反復ばく露による臓器(肺)の障害 : [銀] 長期または反復ばく露による臓器(呼吸器:吸入)の障害 : [銅]長期または反復ばく露による臓器(肝臓)の障害
吸引性呼吸器有害性	: 知見なし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	: 魚類 銅 長期的影響により水生生物に有害のおそれ : 甲殻類 銅 長期的影響により水生生物に有害のおそれ : 藻類 データ無
残留性/分解性	: 知見なし
生態蓄積性	: 知見なし
土壤中の移動性	: 知見なし
他の有害影響	: 知見のない項目が多いので、一般環境内への廃棄は行わない。

## 13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物業者に委託する。 金属成分はリサイクル可能。
--

## 14. 輸送上の注意

【国際規制】	
Class 国連分類	: 非該当

UN No.(国連番号)	: 無
品名(国連輸送品名)	: 無
容器等級	: 無
海洋汚染物質	: 非該当
【国内規制】	: 適用法令参照
特別の安全対策	: 運搬に際しては転倒、落下、破損、荷崩れの防止を確実にを行う。

#### 15. 適用法令

労働安全衛生法	: [錫] 名称等を通知/表示すべき有害物 (施行令第 18 条) 322 ず及びその化合物 : [銀] 名称等を通知/表示すべき有害物 (施行令第 18 条) 137 銀及びその水溶性化合物 : [銅] 名称等を通知/表示すべき有害物 (施行令第 18 条) 379 銅及びその化合物 : [ロジン] 非該当
大気汚染防止法	: 非該当
水質汚濁防止法	: 非該当
下水道法	: 施行令第 9 条の 4 銅及びその化合物
土壌汚染対策法	: 非該当
化学物質排出把握管理 促進法(PRTR 法)	: 第 1 種指定化学物質 (第 82 号 : 銀及びその水溶性化合物)
毒劇法	: 非該当
欧州 RoHS 指令	: 対応(閾値をこえる含有は無い)

#### 16. その他の情報

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供のものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解したうえで、活用されるようお願いいたします。記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により改訂されることがあります。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。本資料に含まれる特性値等は、代表値であり、品質保証値ではありません。